



三重県議会議員 こうすけ しもの幸助 県政レポート

2012年8月
夏号
VOL.4



発行：三重県議会議員しもの幸助事務所 〒510-0244 鈴鹿市白子町2977-1 TEL:059-387-0721 FAX:059-387-0722

三重県議会で本年度「しもの幸助」が担当する主な業務

■三重県議会 常任委員会

防災県土整備企業常任委員会 委員

- ①防災危機管理部／消防や防災など、皆が安心して生活できるようにする仕事。
- ②県土整備部／道路、橋、住宅、公園などを作ったり、川や海岸を守ったりして暮らしやすい町をつくる仕事。
- ③企業庁／発電したり、上水道や工業用水道の水を送ったりする仕事。

予算決算常任委員会 委員

県の仕事に必要なお金の使い方を計画したり、予算をどのように使ったかを調べたりする仕事。議長を除く三重県議会議員全員（50人）が委員となっています。



■三重県議会 特別委員会

スポーツ振興対策調査特別委員会 委員

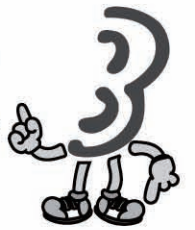
みえ国体（2021年予定）およびインターハイ（2018年予定）の開催に向けたスポーツ振興対策について調査を行います。



■三重県議会 広聴広報

三重県議会 広聴広報会議 委員

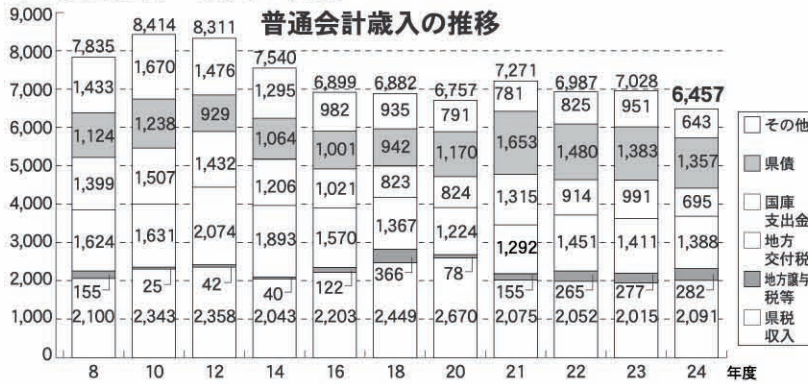
三重県議会における効果的な広聴広報の取り組みについて協議・調整します。広聴広報とは、簡単にいいますと、県民の皆様のお声を幅広く聴き、県議会で議論・協議等を経て、県民の皆様へ幅広く報告することを意味します。みえ県議会だより（年6回／県内71万世帯配布）、みえ県議会新聞（年2回／14万部発行）の作成や『みえ現場 de 県議会』などを担当しています。



三重県の経営状況

1 三重県の歳入

■普通会計の歳入の状況



(注1) 普通会計決算ベース（ただし、平成24年度は1号補正後予算額、平成23年度は最終予算額）
(注2) 「地方譲与税等」とは「地方譲与税等」及び「地方特例交付金」をいう。

■主要歳入項目について

■県税収入

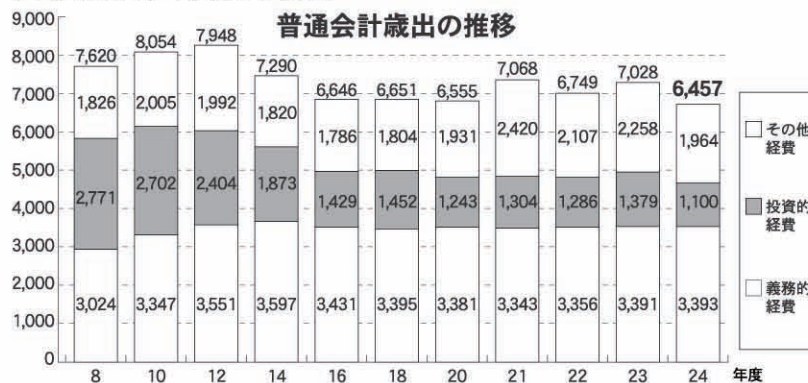
景気の回復等に伴い、平成15年度以降は、順調に増加。さらに、19年度は三位一体改革に伴う税源移譲も加わり、大幅に増加。しかし、21年度からは、米国発の世界的経済危機による景気の悪化に加え、地方法人特別税が創設されたこと等に伴い、大きく減少。

■地方交付税

平成12年度をピークに、三位一体改革の影響もあり、大きく減少するも、22年に改善。

2 三重県の歳出

■普通会計の歳出の状況



(注) 普通会計決算ベース（ただし、平成24年度は1号補正後予算額、平成23年度は最終予算額）

■主要歳出項目について

■義務的経費

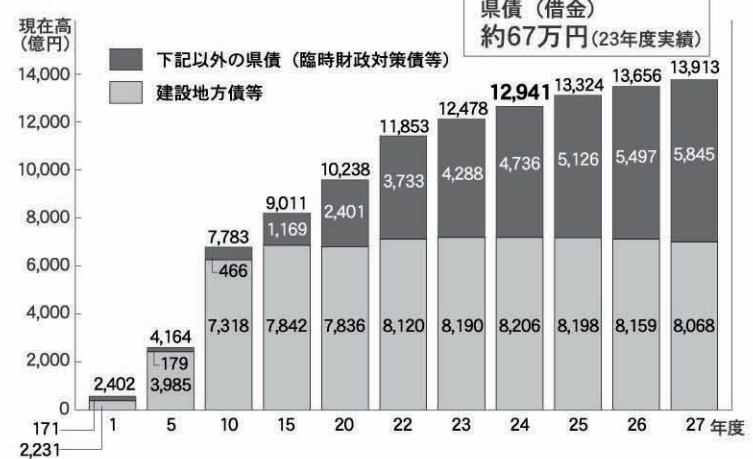
人件費、扶助費（生活保護などの福祉的な支援を行う経費）、公債費（県の長期の借入金に対する返済金）のことで、平成15年度以降は3,300億円から3,400億円台で推移。

■投資的経費

公共事業をはじめとした社会資本整備や公共施設の建設などハード事業を行うための経費の事で、平成7年度～平成11年度まで高い水準で推移したが、平成14年度2,000億円を下回った後は、年々減少し、近年は横ばい傾向。

3 三重県の県債（借金）

■県債残高将来推計



(注) 県債発行額は、平成22年度までは決算額、平成23年度は最終補正後予算額、平成24年度は当初予算額、平成25～27年度は三重県行財政改革取組の参考資料にある中期財政見通しの数値である。
※三重県行財政改革取組においては、国の地方財政対策により決定される臨時財政対策債や災害に対するための災害復旧事業債等を除き、平成26年度末の県債残高が平成23年度末よりも減少するよう取り組むこととしている。

■県債残高の見込みについて

建設地方債等については、投資的経費が景気対策などにより、平成4年度以降大きく伸びたことから、その残高も年々増加していたが、平成15年度以降は抑制傾向となった。平成19年度以降は、退職手当債の発行などにより、若干増加している。県債残高全体としては、平成20年度に1兆円を超え、年々増加している。

4 三重県の基金残高（貯金）の状況

平成24年度末残高は、368億円の見込み。
(平成8年度末残高の1/4以下)

5 県の財政を一般家庭に置き換えてみると…



■収入

(単位：万円)

	平成12年度	平成22年度	備考
給料	367	259	県税収入、使用料、諸収入など
親からの仕送り	355	344	地方交付税、国庫補助金、臨時財政対策債など
貯金取崩し	16	28	基金の取り崩し
ローン	93	68	地方債（臨時財政対策債は除く）
計（※1）	831	699	

県の財政を一般家庭に置き換えてみた場合

平成12年度から10年後の平成22年度にかけて、

（※1）収入の面では総額132万円の減少（16%のマイナス）

（※2）支出の面ではローンの返済が高水準で推移しているため、生活費を切り詰めざるを得ない状況（119万円の減少）となっている。

●借金の総額は増え続けている。

■支出

(単位：万円)

	平成12年度	平成22年度	備考
生活費（※2）	698	579	
ローン返済	97	96	公債費
計	795	675	

ローン残高	846	1,185	
貯金残高	90	91	財政調整・その他特定目的基金

（※2）10年間の生活費の推移 698万円⇒579万円

■生活費の主な内訳

- 福祉の向上に 58万円⇒96万円（+38万円）
- 犯罪・交通事故防止に 40万円⇒40万円（±0万円）
- 道路・住宅・公園などの整備に 160万円⇒93万円（▲67万円）
- 農林水産業の発展に 78万円⇒41万円（▲37万円）
- 教育・文化に 194万円⇒177万円（▲17万円）

しもの幸助

活動報告

■詳しい内容につきましては、しもの幸助事務所までお問い合わせください。

1 防災

①堤防の改良事業が始まります。

（平成24年度～平成27年度 4年間計画）
海岸局部改良事業（堤防緊急改良対策）として、本年度から鈴鹿市内の堤防の改良工事が始まります。鈴鹿市内では4年間かけて空洞化22箇所（1箇所最大延長100m）行う予定です。



5月18日 海岸堤防（鈴鹿市南若松地区）の現場視察



②台風12号(2011年9月発生)の復旧工事状況

昨年9月に紀伊半島を襲った台風12号による豪雨災害後、復旧工事の進捗状況を現場にて5回調査しました。三重県では熊野市や御浜町、紀宝町など東紀州地域を中心に大きな被害をもたらしました。2011年9月4日、熊野市井戸町瀬戸では1時間に131ミリの記録的な短時間大雨が発生しました。



7月19日熊野市井戸町瀬戸にて（寸断された七色峡線前）

2 スポーツ振興（障がい者）

2012 三重県ふれあいスポレク祭

三重県内各地から四日市ドームに約1500名の参加者が集まり、『であい・ふれあい・かたりあい』をテーマに楽しく運動されました。



6月23日三重県ふれあいスポレク祭にて

3 子ども・教育

●本年度からスクールカウンセラー(SC)4校拡大されました。

子どもや保護者の心のケアに対応するスクールカウンセラー(SC)の小学校配置が4校増え12校となりました。今後は、中学校10校全校（鈴鹿市内）SCが配置されていることもあり、小学校30校全校（鈴鹿市内）でもSCが配置されるよう求めてまいります。

●本年9月から子ども医療費助成が拡大されます。

三重県では、市町が行っている『子ども医療費助成事業』に対して、その費用の2分の1を補助していますが、その対象者は未就学児童となっています。本年9月からはその対象者が小学校6年生までの入院・通院まで拡大されることになりました。



4 東日本大震災によるがれき処理

災害廃棄物の処理状況について、7月に宮城県石巻市、女川町を現地視察しました。平成24年6月30日現在、宮城県の災害廃棄物1,154（万トン）のうち、290（万トン）が処理（処理率25.1%）されましたが、最大限現場処理を行っても、宮城県で約127万トン、岩手県で120万トンの広域処理（※）が必要となります。女川町（廃棄物選別処理施設現場）の放射線量は、一時間ごとに計測され平均で0.07～0.11（マイクロシーベルト/時）となっています。三重県の放射線量は、おおむね0.05～0.08（マイクロシーベルト/時）となっており、ほとんど変わらないこととなります。三重県も広域処理（災害廃棄物の受け入れ）について、県・市・町の三者が一体となって協力できるよう進めております。

■災害廃棄物の処理状況について（平成24年6月30日現在）

	災害廃棄物推計量	処理・処分量計	処理・処分率	広域処理必要量
岩手県	525(万トン)	68(万トン)	12.9%	120(万トン)
宮城県	1,154	290	25.1%	127

※広域処理とは

東日本大震災による災害がれきを被災地域内の自治体で平成26年3月末までに処理できない場合、被災地域外の自治体で、受け入れ・処理することを言います。



7月11日 女川町災害廃棄物の処理現場

三重県議会議員

しもの幸助事務所

〒510-0244 鈴鹿市白子町2977-1
TEL:059-387-0721 FAX:059-387-0722

しもの幸助ホームページ(ブログ更新中)
www.k-shimono.com

facebook

下野 幸助

検索



皆様からのご意見をお待ちしています。お気軽にご連絡ください。

■しもの幸助プロフィール

- 1976年11月 鈴鹿市に生まれる 35歳
- 1983年 3月 私立第二さくら幼稚園 卒園
- 1989年 3月 鈴鹿市立白子小学校 卒業
- 1992年 3月 鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校 卒業
- 1997年 3月 国立鈴鹿工業高等専門学校電気工学科 卒業
- 1999年 3月 国立豊橋技術科学大学電気・電子工学課程 卒業
- 1999年 4月 国立サウスバンク大学 英国留学（聴講生留学）
- 2001年10月 内閣官房（国家公務員／内閣事務官）
- 2008年 3月 慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 修了（MBA取得／経営学）
- 2008年 3月 アイシン精機株式会社経営企画室入社
- 2010年11月 同社退社
- 2011年 4月 三重県議会議員選挙で初当選（鈴鹿市）